

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-II-8

4-II
-8

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	ガイド窓口の設定
	節 II. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	8 ガイド窓口の設定	事業主体	佐渡観光協会
		関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市農林水産課、佐渡市観光振興課、佐渡市社会教育課、佐渡を世界遺産にする会
事業実施期間	H28～H34		
事業概要	【事業目的】	○ ガイド窓口の設定により、利用者の利便性向上を図る。	
	【事業内容】	○ 予約受入窓口とガイド運営体制を整備する。	
事業実績	【事業成果】	<ul style="list-style-type: none"> ● 相川・両津・真野・小木のまち歩きガイドのヒアリングを行い、ガイドの案内マニュアルを作成中。(観光振興課・佐渡地域観光交流ネットワーク) ● 相川ふれあいガイド、佐渡を世界遺産にする会、笹川の景観を守る会等のガイド窓口の設定にあたり、連携が必要な関係機関との意見交換会を実施。(観光振興課・世界遺産推進課) 	
	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■ ガイダンス施設内での観光案内体制の検討及び佐渡観光協会相川案内所の移転が必要である。 	
今後の取組・課題	【今後の取組】	■ ワンストップでのガイド案内体制の構築する。	
事業評価	【事業の達成度】	[a (b) ・ c]	
	【事業実施の効果】	[a (b) ・ c]	
	【総合評価】	[A (B) ・ C]	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。